

1 平成 22 年度

施設名（愛称名）	立野公園
----------	------

番号	66
----	----

平成 22 年度

施設評価調書

施設の名称……立 野 公 園

所管担当課……建 設 課

平成 22 年 7 月

2
平成 22 年度

施設名（愛称名） 立野公園

番号 66

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	立野公園		2 担当課 担当係	建設課 都市住宅係		
3 所在地	下田市立野 364 番地		4 設置年月	昭和 54 年 12 月 21 日		
5 総合計画の 位置付け	V ヒト・モノ・コトの豊かな交流づくり		身近な生活環境づくり		公園	
	施策体系		都市公園の整備		公園の整備	
	主要事業		都市公園整備事業		公園の整備	
6 設置目的	公共福祉の増進					
7 設置根拠	下田市都市公園条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 3,001 m ²				
		砂場、3 間中铁棒、枝型 2 人用ブランコ、スベリ台、ジャングルジム、太鼓梯子、傘型ハン登棒、擬木トンネル、動物型遊具、土管型遊具、ベンチ、便所、水飲み場、広場、樹木				
	実施事業の概要	昭和 51 年 7 月の集中豪雨による、二級河川稲生沢川激甚災害対策特別緊急整備事業にて生み出された廃川敷を利用した平坦な公園である。 附近には稲生沢小学校、幼稚園があり、稲生沢地区の文京地区にあり児童の利用に適地である。				
	料金体系	料金区分	都市公園占用料等の料金設定有り 有料施設なし			
		主な料金	公園施設を設置する場合 1 m ² 月：180 円 公園を占用する場合 下田市道路占用料徴収条例（昭和 44 年下田市条例第 18 号）第 2 条を準用する 行為を行う場合 写真撮影 1 台月：2,350 円 競技会・展示会等 面積 1 m ² 日：40 円 面積以外 1 回日：5,000 円			
		減免内容	（使用料の減免及び還付） 第 5 条 条例第 9 条の規定による使用料の減免は次の各号に定める場合とし、その額は当該各号に定めるところによる。 （1） 下田市内の保育所、幼稚園、小学校又は中学校の児童又は生徒が教職員引率のもとに保育又は教育上の目的で使用するとき。 使用料の全額 （2） 官公署、公益法人又は報道機関が公益事業のため、入場料を徴収しないで使用するとき。 使用料の全額 （3） 下田市が主催し、又は委託する事業で使用するとき。 使用料の全額 （4） 前各号に定めるもののほか、市長が特別の理由があると認めたとき。 市長が定める額			
		利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
	施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営				
		<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者			
		<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容			
直接従事職員	下田市職員数 常勤 1 名 臨時 4 名 (無料公園 8 公園)					
9 市内の類似施設	下田市所有	小山田公園、中村中央公園、中村東公園				
	民間所有					

3
平成 22 年度

施設名（愛称名） 立野公園

番号 6 6

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 21 年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格 1 円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 年	
	土地取得費		土地残高				
	建物取得費		建物減価償却後残高				
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債		市債残高		0		
	一般財源						
	寄附金等						
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H19 年度決算	H20 年度決算	H21 年度決算	H22 年度予算	
	収入		434,397	417,901	405,995	398,000	
	収入合計		434,397	417,901	405,995	398,000	
	支出	1 旅費					
		2 消耗品費					
		3 印刷製本費					
		4 燃料費					
		5 光熱水料費					
		6 修繕費					
		7 賃金	9,584,685	11,891,100	9,428,800	9,621,000	
		9 旅費		12,000			
		11 需要費	3,003,488	2,665,100	3,304,803	3,562,000	
		12 役務費	354,971	412,494	483,367	577,000	
		13 委託料	2,054,535	4,023,395	5,081,060	4,904,000	
		14 使用料及び借上料	149,940	229,304	159,406	315,000	
		15 工事請負費		3,139,500	1,943,250	300,000	
		16 原材料費	135,818	139,115	140,819	150,000	
	18 備品購入費		604,717	910,927			
	23 償還金利子及び科目存置			232,071			
	27 公課費		7,040	17,600	9,000		
	支出合計		15,283,437	23,123,765	21,702,103	19,438,000	
	人件費（市職員）		375,000	528,000	552,000	568,000	
減価償却費							
市債利子							
人件費（事務に係るもの）							
下田市負担年間総経費		15,224,040	23,233,864	21,848,108	20,006,000		
備考		無料公園 8 公園合計数値を記載					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H19 年度決算	H20 年度決算	H21 年度決算	H22 年度	
		利用者数	人	人	人	人	
		参考：利用単位 当たり市負担額	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数				
	休館日						
	使用時間						
	備考	無料公園であり基本的に自由使用のため利用者数の把握無し					
13 利用者満足度調査	実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果			
	直近の実施時期						
	調査手法						
	調査数						

4
平成 22 年度

施設名（愛称名） 立野公園

番号 66

業 績 評 価

1 目標達成度

目標達成度	区 分	単 位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
	利用者数 の目標値	人				
	〃 の実績	人				
	目標達成度	%				
選択した指標	<input type="checkbox"/> 成果指標 <input type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
指標設定の考え方	区 分	指 標 名	指 標 の 考 え 方			
	成果指標					
	代替指標					

(参考)

活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）

活動指標		区分	単 位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
活動指標①	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標②	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						
活動指標③	目標指標	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指標の考え方						

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
	施設の総利用者数等①		人				
	年間経費②	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円				
	利用単位当たり経費	②÷①	円/人				
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等に用いた指標について記載してください。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標		区分	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
目標指数①	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数②	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					
目標指数③	目標指数の考え方	目標値					
		実績値					
		達成度					

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度
	① 有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円			
	② 受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円			
	③ 受益者負担比率	②÷①	%			
	④ 補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円			
	⑤ 補正受益者負担比率	④÷①	%			

【参考】

運営に掛かる税負担（市民負担）	年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度(予算)
	人口（4月1日：人）	26,197	25,802	25,549	25,404
	人口 1 人あたり（円/人）	581	900	855	787
	年間総経費	581	900	855	787

施設の現状分析 (無料施設分) 公園 8カ所共通

判 断 視 点 項 目		施設の状況	
施設方向性の判断視点	① 施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	子供の遊び場から中高年の園路散策、老人のゲートボールまで幅広い層に利用されている。 下田公園、ペリー上陸記念公園については観光客の利用が多い。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	市民に憩いの場、やすらぎの場を提供し福祉の向上に寄与している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	市民の憩いの場、やすらぎの場として必要な施設である。
	② 施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	簡易な修繕が多く、職員により対応している。 下田公園については、落石防止対策が必要である。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	清掃作業等の際、利用者と接する機会が多いため、作業中の話しかけによる情報交換が多い。
	③ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	地域毎に設置されており、競合することはない。
		民間においても十分可能な施設なのか	経費の大部分が人件費であり、職員の中に特殊技能を有する者もおおり、公園管理は直営が望ましいと思われる。
	④ 使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	使用料は徴収していない。 (収入としてあるものは占用料)
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	整備状況は良好。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうか	誰でも、いつでも、自由に利用できる施設である。
		施設の耐用年数は何年有るのか	設備の中には耐用年数を経過しているものもあるが、施設としては耐用年数の定めはない。
		施設の今後の維持経費の算定はどうか	大きな修繕がなければ人件費が大部分である。

施設の現状分析

(無料施設分) 公園 8カ所共通

判 断 視 点 項 目		施設の状況	
行政規模からの判断視点	① 施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	市民への憩いの場、やすらぎの場の提供が目的であり、妥当な経費と考えられる。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	下田公園を中心に管理することになるが、公園内の景観に必要な花・木を爪木崎自然公園内で生育したり、人手を要する作業にはお互いに融通することができ適切な管理が可能である。
	③ 施設の統廃合が可能な施設はないのか	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	山間部や海岸部は自然が公園と考えており、都市部に集中しているが、本郷及び中村は土地区画整理により設置されたものである。
		施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	統合を考えるべき施設ではない。
老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか		老朽化による設備の改築はやむを得ないと思われるが、施設自体の廃止を考える施設ではない。	
その他	地域、民間に譲渡できないのか	都市公園として整備されたものであり、譲渡できる性質の施設ではない。	
	施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	統廃合を考えるべき施設ではない。	

見直しの方策 (無料施設分) 公園 8カ所共通

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	都市公園として位置付けられており、行政が関与すべき施設である。
	受益者負担の妥当性	無料施設であり、すべての運営経費は行政負担である。
	実施主体の妥当性	行政主体が妥当である。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	施設整備を直営で行っているが、外部委託することも可能とは思われる。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	無料施設であり、市民への憩いの場、安らぎの場の提供が目的のため不備の無いよう適正な施設整備を行う。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	恒久的な施設であるため、安定した施設整備を行う。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	無料施設。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	アンケート実施していない。 苦情、指摘等あれば随時対応。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	利用者の満足いく施設であるよう努力している。 不備な点があれば、随時改善。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	利用者の満足いく施設であるよう努力している。 不備な点があれば、随時改善。

平成 21 年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	

9
平成 22 年度

施設名（愛称名） 立野公園

番号 66

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 <input type="checkbox"/> 縮小等による見直し <input type="checkbox"/> 統廃合を進める	<p>(具体的な内容)</p> <p>市民への憩いの場、やすらぎの場の提供が目的であり、無料施設のため、安定した施設整備が重要である。</p>
--------	--	---